

新オレンジプラン

～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに「新オレンジプラン～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」を関係府省庁と共同で策定しました。

当法人としても、認知症高齢者等が地域で自分らしく生活できるよう取り組んでいます。



○取り組み紹介

最近家にいて「出歩かなくなった。」「料理をしなくなった。」「寝ていることが多くなった。」こんな事ありませんか？

当施設利用者様は、手先の動きや趣味を継続するために、リハビリや運動など自分らしい暮らしが継続できるよう取り組んでいます。認知症になり何もしなければ、できていた事がだんだんできなくなってしまいます。しかし、一人ひとりに合わせたサポートを行うだけで、住み慣れた地域で生活できるのです。

今回は、地域の皆様に理解を深める活動として、認知症利用者様がサポートを受けながら作った作品を紹介します。作品を通して、利用者様の取り組みや地域の皆様のサポートの必要性を理解していただき、認知症高齢者にやさしい地域づくりのきっかけになればと思っています。



医療法人 中野会

グループホームRU・RU・RU

介護老人保健施設LA・LA・LA 通所リハビリテーション